

都におけるバリアフリー化の進捗状況について（令和元年度末）

1 交通機関、道路等

(1) 交通機関におけるバリアフリー化

① 都内鉄道駅（JR・私鉄・メトロ・都営地下鉄）のバリアフリー化の進捗状況

○「鉄道駅エレベーター等整備事業」の令和元年度補助実績：8駅

<都内鉄道駅のバリアフリー化の進捗状況>

	令和元年度末の状況		
	全駅数	整備済駅数	整備率（%）
「エレベーター等による段差解消」の整備状況	757	726	95.9%
「だれでもトイレ」の整備状況（路面電車の駅を除く）	717	694	96.8%
「視覚障害者誘導用ブロック」の整備状況	757	756	99.9%
「ホームドア、可動式ホーム柵」の整備状況	757	346	45.7%

② 都内のノンステップバス車両の普及状況

○「だれにも乗り降りしやすいバス整備事業」の令和元年度補助実績：20両

○都営バスについては、平成24年度に全車両ノンステップ化を完了

<都内のノンステップバス車両の普及状況>

	令和元年度末の状況		
	全車両数	整備済車両数	整備率（%）
民営バス	4,316 両	3,986 両	92.4%
都営バス	1,513 両	1,513 両	100.0%
合計	5,829 両	5,499 両	94.3%

③ ユニバーサルデザインタクシー車両の導入支援状況

<補助実績>

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
—	3台	77台	3,276台	5,688台

【取組の成果】

- 都内の鉄道駅については、エレベーター等による段差解消、だれでもトイレ、視覚障害者誘導用ブロック、ホームドア等の整備が進み、バリアフリー化は着実に進展している。
- 地域の身近な移動手段であるバス車両のノンステップ化は、都営バスについては100%を達成しており、民営バスについても購入経費の一部を補助することにより導入促進を図っている。
- 環境性能の高いユニバーサルデザインタクシー車両の導入支援により、当初の目標として掲げた都内タクシー約5万台のうち1万台の転換を令和元年度に達成した。

(2) 道路におけるバリアフリー化

① 都道のバリアフリー化の進捗状況

○ 整備実績

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
8km	21 km	21 km	30 km	39 km

※平成 28 年 3 月に「東京都道路バリアフリー推進計画」を新たに策定、
令和元年度末時点で同計画に基づく都道の対象延長 180 kmのうち、119 kmを整備、
整備率は 66.1%

② 高齢者・視覚障害者等用の信号機、エスコートゾーンの整備状況

	平成 27 年度末時点 の整備箇所数	平成 28 年度末時点 の整備箇所数	平成 29 年度末時点 の整備箇所数	平成 30 年度末時点 の整備箇所数	令和元年度末時点 の整備箇所数
歩行者感应式信号機 (高齢者等感应式 信号機含む)	677 か所	677 か所	679 か所	669 か所	672 か所
視覚障害者用信号機	2,178 か所	2,336 か所	2,419 か所	2,467 か所	2,575 か所
エスコートゾーン	570 か所	580 か所	615 か所	653 か所	695 か所

【取組の成果】

- 令和元年度までに、競技会場周辺道路等、延長約 90 kmの都道のうち、約 84km（約 93%）のバリアフリー化が完了した。
- 歩行者感应式信号機、視覚障害者用信号機、エスコートゾーンの整備を計画的に推進し、横断歩道上における歩行者や視覚障害者の安全性を向上させている。

(3) 面的なバリアフリー整備

① 東京都施行市街地再開発事業の実施状況

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
2 地区	2 地区	1 地区	1 地区	2 地区

② 東京都施行土地区画整理事業の実施状況

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
6 地区	5 地区	4 地区	4 地区	4 地区

③ 「バリアフリー基本構想」の「重点整備地区」での整備状況

＜基本構想策定に係る補助実績＞

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
3区	4区	3区	2区	0区

- 令和元年度末時点で、都内 21区9市 で基本構想を策定し、面的なバリアフリー整備を実施

【取組の成果】

- 事業の進捗に伴って指定地区や重点整備地区は増加しており、地区内においては、面的なバリアフリー整備に取り組んでいる。
- 指定地区や重点整備地区等のある区市町村では、面的整備のノウハウが蓄積されるとともに、ユニバーサルデザインの理念の普及啓発にも取り組んでいる。

2 施設等

(1) 建築物等におけるバリアフリー化

① 福祉のまちづくり条例の運用状況

＜福祉のまちづくり条例に基づく特定整備主による工事着手前の届出件数（実績）＞

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
1,235件	1,244件	1,217件	1,216件	1,234件

② バリアフリー法の運用状況

＜バリアフリー法の新規認定件数（実績）＞

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 ※都の認定件数のみ
25件	22件	18件	13件	9件

③ 宿泊施設のバリアフリー化事業の実施状況

＜補助実績＞

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 ※交付決定時点
8件	10件	5件	14件	36件

④ 赤ちゃん・ふらっと事業
 <整備実績>

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
99 か所	99 か所	55 か所	53 か所	37 か所

- ・令和元末時点で、「授乳やおむつ替え等のスペース」を設置：1,533 か所

【取組の成果】

- バリアフリー法やバリアフリー条例、福祉のまちづくり条例に基づき、毎年度、相当数の建築物のバリアフリー化が進んでいる。

(2) 公園におけるバリアフリー化

都立公園の整備状況

<福祉のまちづくり条例に沿って整備した新規開園面積>

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
7.5ha	7.0 ha	2.9ha	6.2ha	4.1ha

【取組の成果】

- すべての利用者が安心して、快適に利用できる都立公園の整備が着実に進んでいる。

(3) 公共住宅の整備・民間住宅の整備促進

① 都営住宅のバリアフリー化の進捗状況

<建替実績>

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
3,525 戸	3,855 戸	997 戸	2,494 戸	3,289 戸

<既設都営住宅の住宅設備改善等実績>

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
高齢者向け改善(※)	4,444 戸	4,162 戸	3,797 戸	3,595 戸	3,389 戸
障害者向け改善(※)	420 戸	381 戸	377 戸	282 戸	266 戸
エレベーター設置	34 基	34 基	34 基	34 基	31 基

(※) 高齢者向け改善・・・高齢者からの要望を受け、玄関、便所、浴室などへの手すり設置、浴室出入口戸を中折れ戸に取替え、玄関内外部にインターホン設置、玄関ノブをレバーハンドルに取替えを行うなどの改善のこと

(※) 障害者向け改善・・・障害者からの要望を受け、玄関、便所、浴室などへの手すり設置、台所に火災・ガス漏れ警報及び遮断装置付メーターの設置、玄関内外部にインターホン設置を行うなどの改善のこと

② 民間住宅のバリアフリー化の進捗状況
 <サービス付き高齢者向け住宅等の供給実績>

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
17,528 戸	18,653 戸	19,714 戸	20,751 戸	21,764 戸

【取組の成果】

- 公共住宅や民間住宅において、ハード面のバリアフリー化のほか、福祉サービスと連携した住宅供給を促進するなど、高齢者や障害者が安全で安心して暮らせる住環境の整備が進んでいる。

3 災害時・緊急時に備えたまちづくり

- 帰宅困難者対策における要配慮者への支援
 (令和元年度末時点の実績)
 帰宅困難者対策ハンドブックの更新
 一斉帰宅抑制普及啓発動画の配信 約 13,000 回再生
- ヘルプカード作成促進
 (令和元年度末時点の実績)
 作成、配布：52 区市町村

【取組の成果】

- 災害時における要配慮者対応の普及啓発やヘルプカードの作成で区市町村を支援するなど、災害時及び緊急時に備えた取組を進めている。

4 情報バリアフリー

情報バリアフリー・情報提供の推進（主な実績）

- 点字による即時情報ネットワーク事業
 (令和元年度の実績)
 点字版 実施回数 238 回 延配布者数 23,800 人
- 点字録音刊行物作成配布事業
 (令和元年度の実績)
 ・都刊行物：年間 12 種類 1 種類につき、点字：723 部 録音物：1,130 部
- 東京ひとり歩きサイン計画
- ※ 外国人旅行者や障害者、高齢者が安心して東京の観光を楽しめるように、ピクトグラム（絵文字）や多言語で表記した観光案内標識を設置するとともに、平成 26 年度改訂の「国内外旅行者のためのわかりやすい案内サイン標準化指針」に基づき、各区市町村に対して、案内サインの統一化を周知・促進する。

<整備実績>

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
50 基	88 基	106 基	71 基	133 基

- ・令和元年度末時点で、448 基を整備（加えて 106 基の設置に着手）

【取組の成果】

- 障害者の福祉の向上や社会参加の促進に向けた取組を進めるとともに、ピクトグラムや多言語で表記した観光案内標識の設置など、様々な手段により情報バリアフリーを推進している。

5 心のバリアフリー

○ 普及啓発の充実

- ・「区市町村・事業者のための『心のバリアフリー』及び『情報バリアフリー』ガイドライン」の作成（平成 27 年度）
- ・「心のバリアフリー・情報バリアフリー研究シンポジウム」の開催（平成 28 年度・平成 29 年度）
- ・「心のバリアフリー普及啓発ポスターコンクール」の実施（平成 28 年度～）
- ・「心のバリアフリーに関する事例収集及び意識調査」の実施及び高校生向けリーフレットの作成・配布（平成 28 年度）
- ・1 都 3 県共同での障害者等用駐車区画の普及啓発活動（平成 28 年度～）
- ・「『心のバリアフリー』の実践に向けたハンドブック」の作成（平成 29 年度）
- ・東京都「心のバリアフリー」サポート企業連携事業の実施（平成 30 年度・令和元年度）

○ 身体障害者補助犬給付事業

<給付実績（盲導犬・介助犬・聴導犬）>

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
10 頭	18 頭	12 頭	8 頭	5 頭

○ 放置自転車等※の台数の推移（※原動機付自転車及び自動二輪車を含む。）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
37,004 台	34,247 台	31,326 台	27,332 台	25,008 台

○ 福祉教育の充実

- ・小中学校 1,901 校、都立高校 191 校で福祉教育を実施

【取組の成果】

- 心のバリアフリーに向けた様々な普及啓発に取り組むとともに、障害者の社会参加を促す取組等を進めることで都民の理解促進を図り、心のバリアフリーを推進している。